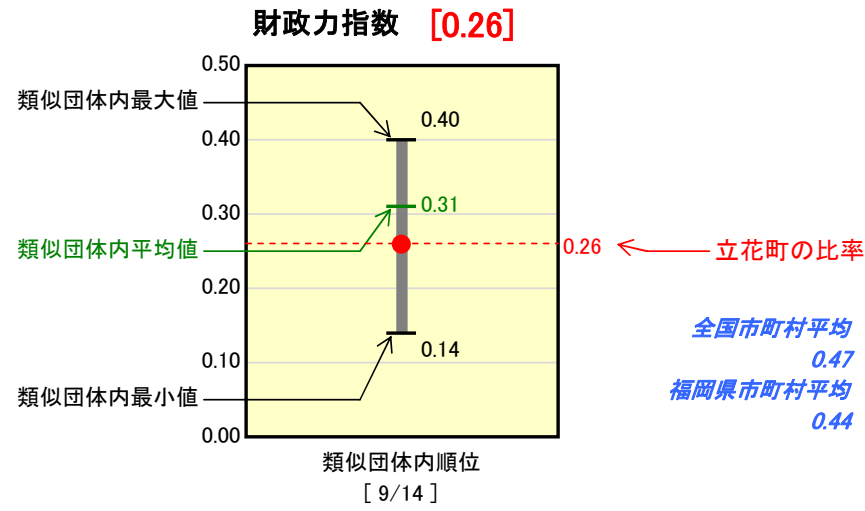


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

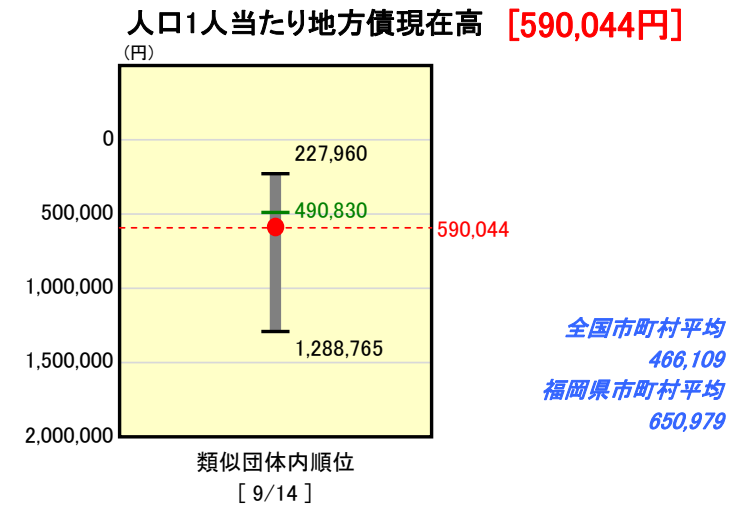
福岡県 立花町

人口	12,279 人(H17.3.31現在)
面積	86.64 km ²
歳入総額	5,415,329 千円
歳出総額	5,261,614 千円
実質収支	153,715 千円

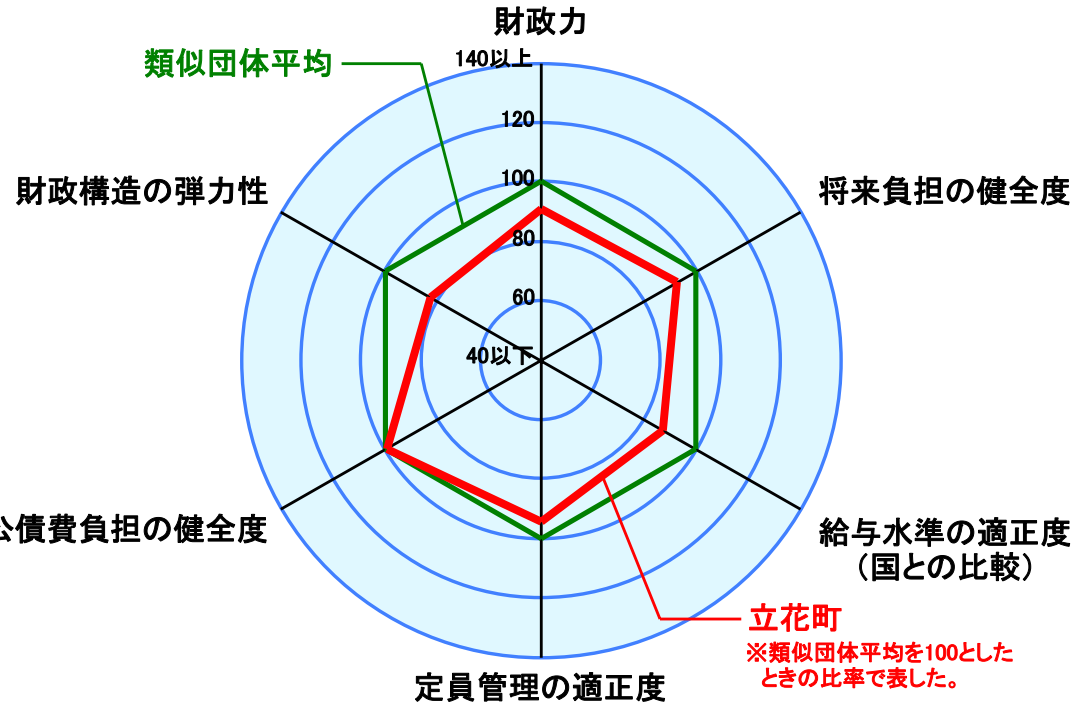
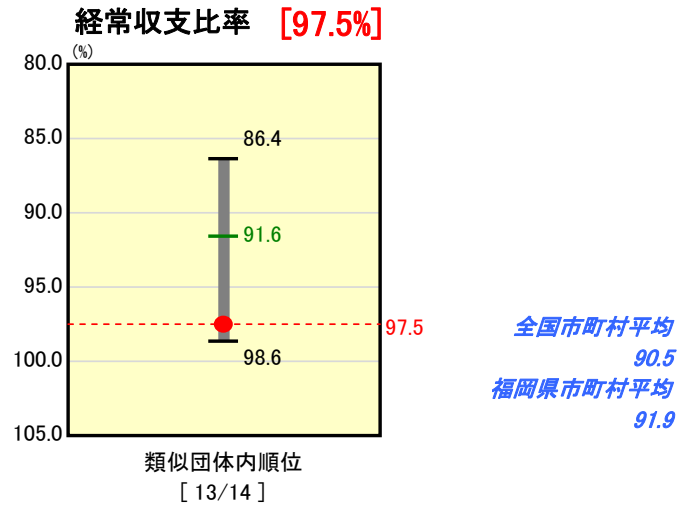
財政力



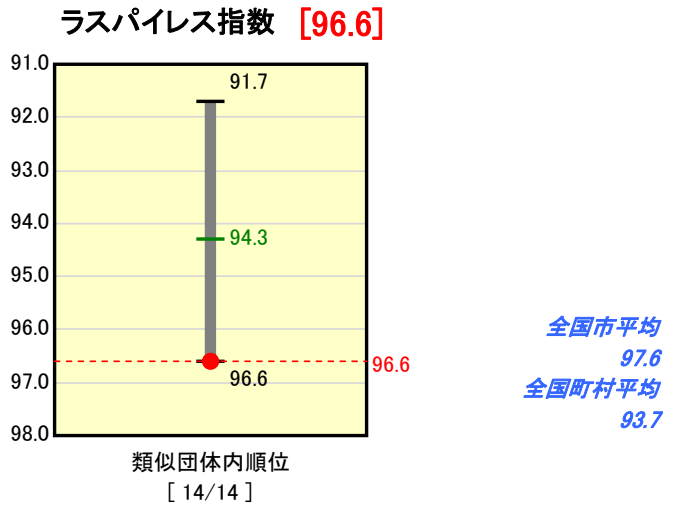
将来負担の健全度



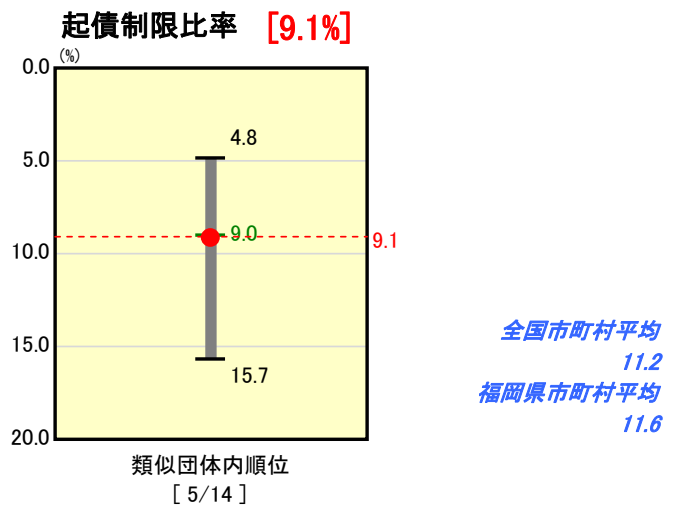
財政構造の弾力性



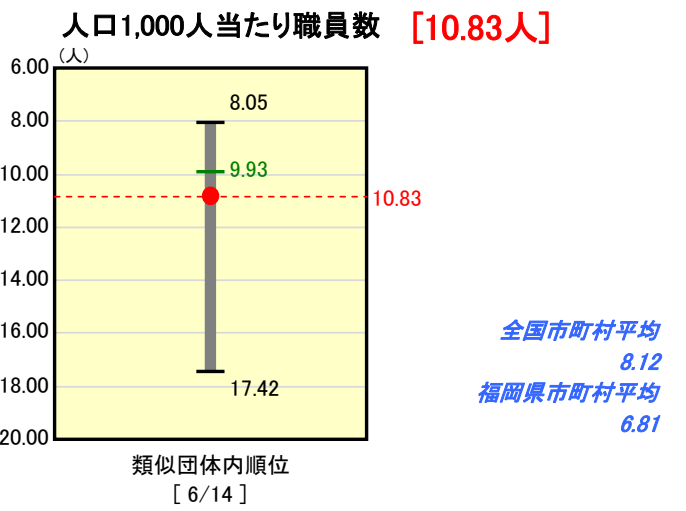
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成17年10月1日現在28.5%)に加え、基盤産業である農業の不振により財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。保育所数を5箇所から3箇所に統廃合を実施した等の施策により、平成16年度は前年比0.02の向上となっている。今後も、組織の見直しや職員数の減少等の施策を実施し、行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

○経常収支比率
普通交付税の削減による影響が大きい。そのほか、保育所国庫補助金が一般財源化されたことの影響が歳出の経常一般財源が延びたことにつながった。人件費は、退職勧奨等で7名の減を行ったが、歳入の減を補うまでにはいかなかった。今後も人件費をはじめとする義務的経費を強力に削減する。

○起債制限比率
ほぼ類似団体平均となっているが、近年は公共事業にあてる財源の不足や赤字公債の発行などにより借入金の残高は増加している。今後、償還金の増加は財政運営を厳しくするため、収入の水準に見合った計画的な借入を行う。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を上回っている。主要因としては、平成15年度から平成16年度に実施した農産物等直売所建設事業(総事業費2億円、うち起債1億5千万円)等であるが、新規地方債の発行の抑制等により財政の健全化に努める。

○ラスパイレス指数
特別職の給与削減や管理職手当の削減や調整手当・管理職手当の削減により一層の給与の適正化に努める。

○人口1,000人当たり職員数
類似団体平均を上回る職員数となっているが、近年の退職者不補充により平成16年度に8人、平成17年度に7人の職員数削減を実施している。本町の地形的な条件により、学校・保育所数が多く、施設職員の数が多い特徴がある。今後は施設の統廃合などの人事施策を進める必要がある。